

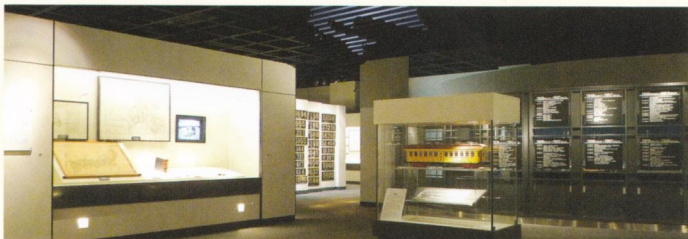
鉄道・科学・歴史館 フロアガイド

しづかホール 1F



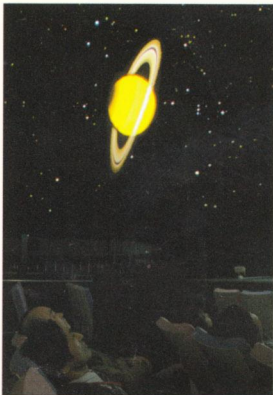
総合博物館の館内に入るとまず目を引くのが、北海道近代化の初期に活躍した蒸気機関車「しづか号」です。「しづか号」は、北海道最初の鉄道「幌内鉄道」が明治13(1880)年に誕生した4年後の明治17(1884)年にアメリカで製造され、翌年手宮に配置された機関車です。「しづか号」と、その後ろの一等客車「い1号」とともに、車両内部の見学ができます。

鉄道展示室 1F



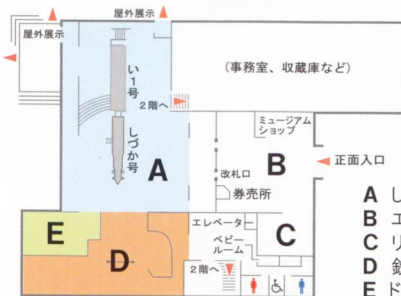
明治期の手宮駅構内のパノラマ模型や蒸気機関車のナンバープレート、時刻表、車両模型などの資料を展示。また、明治初期に小樽と内陸の産炭地とのあいだに敷かれた「幌内鉄道」建設に関する展示もあります。

ドームシアター 1F



季節の星座や今晚の星空をデジタルプラネタリウムを使って、学芸員がわかりやすく解説します。他に、ドームスクリーンを利用した各種映像の上映も行っています。上映時間は館内の表示をご覧ください。

館内のご案内



1F 平面図

- A しづかホール
- B エントランスホール
- C リファレンスルーム
- D 鉄道展示室
- E ドームシアター (プラネタリウム)



2F 平面図

- F 実験室
- G 研修室
- H 科学展示室
- I 企画展示室

実験室 2F



科学の不思議さおもしろさについて、色々な実験を通して体験的に学習することができます。

科学展示室 2F



科学を楽しく学習できる、音・光・力・電気に関する展示をはじめ、鉄道を科学するコーナーもあります。

チャレンジラボ (2F 実験室)

土・日・祝日に気軽に参加できる実験や工作を行っています。内容は毎月替ります!!

企画展示室 2F



歴史・自然・科学などさまざまなテーマの企画展を年に3〜4回開催しています。特に地域に関する収蔵資料の公開に力を入れています。